

内容	商業施設を作ってほしい。 市原と茂原は、商業施設があり、定住している人が多いので大多喜にも作り地域活性化に繋げてほしい。 少子化対策について、子供の塾の場所や暑い日と雨の日でも室内で遊べる場所をつくってほしい。JR を取り入れてほしい。大多喜には、JR がなく交通の便が悪いので。
回答	本町においては、都市部での大型商業施設のような規模ではございませんが、民間の商業施設である「おおたきショッピングプラザオリブ」があります。 この商業施設は、地元商業者が協同組合を設立し、地域の商業振興に貢献したいという使命からオープンした経緯がございます。 このようなことから、町としても重要な商業施設という認識であり、運営に携わる方々が地域の活性化に貢献していると考えます。 また、日用雑貨など、生活に必要な物品等は一通りこの商業施設で購入できるので、これらの事が、定住への P R ポイントになると考えますので、町が主体となり、大型商業施設を設置する考えや計画はありません。 しかしながら、企業誘致の観点から、新規に本町での大型商業施設の整備の相談があった場合など、類似施設の観点も考慮し、対応していきたいと考えますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。 次に、少子化対策の一環として、暑い日や雨の日でも室内で遊べる場所を設けて欲しいとのご要望について、現在、B&G 海洋センター、上瀑ふれあいセンターの体育館は室内で遊ぶ場所としてご利用いただくことができますが、暑さ対策の設備が十分ではないため、今後、空調機等の

導入を検討してまいります。

また、屋内施設ではありませんが、町には「大多喜お城の森公園」がございます。しかしながら、こちらについても暑さや雨をしのげる場所がないため、今後の改善策として検討していきたいと考えております。

そして本町は、いすみ鉄道の駅やバス停から遠い公共交通不便地域が散在するとともに、公共交通が運行している地区についても運行本数が少ないなどの課題を抱えています。

また、近年の急速な少子高齢化や人口減少、自家用車の普及などにより、公共交通利用者の減少が続くとともに、鉄道やバスの運転士不足により公共交通の維持確保が大変厳しい状況となっています。

このような状況を少しでも解消し、地域の実情に即した持続可能な交通の確保を図るため、令和6年3月に地域交通の基本計画として「大多喜町地域公共交通計画」を策定し、現在運行されているいすみ鉄道、路線バス、デマンド型乗合交通などの利便性の向上に取り組んでいるところです。

ご提案のありましたJRを取り入れることについては、本町を含む外房地域における人口減少が続いていることや鉄道施設の設備投資に多額の経費を要することなどから、その実現は困難であると考えますが、本町としては今後も上記計画に基づき、利用しやすく持続可能な地域公共交通サービスの構築に向けて取り組んでまいります。

皆様からの貴重なご意見を参考に、より良い町づくりを進めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。